

愛 媛 県 病 院 事 業 会 計

第 5 愛 媛 県 病 院 事 業 会 計

1 概 要

(1) 事業の実施状況

病院事業会計に属する病院は、中央、今治、南宇和及び新居浜の4病院である。

ア 病院の利用状況

病院の利用状況は次表のとおり、入院患者延べ 384,302人、外来患者延べ 745,980人、計 1,130,282人となっており、前年度に比べて入院患者は延べ 8,635人の減少、外来患者は延べ 12,433人の減少、計 21,068人減少している。

病床数は 1,659床で、前年度と同数となっており、病床利用率は 63.46%と前年度 (64.89%) より 1.43ポイント低下している。

病院名	入院・外来別	病床数	平成30年度 (A)			平成29年度 (B)			増減 (△) (A)－(B)		
			延患者数	1日平均患者数	病床利用率	延患者数	1日平均患者数	病床利用率	延患者数	1日平均患者数	病床利用率
中央	入院	827	人	人	%	人	人	%	人	人	ポイント
	外来		219,632	601.7	72.76	225,164	616.9	74.59	△ 5,532	△ 15.2	△ 1.83
	計		389,727	1,597.2		404,030	1,655.9		△ 14,303	△ 58.7	
今治	入院	320	66,667	182.6	57.08	68,578	187.9	58.71	△ 1,911	△ 5.3	△ 1.63
	外来		149,186	611.4		146,796	601.6		2,390	9.8	
	計		215,853	794.0		215,374	789.5		479	4.5	
南宇和	入院	199	38,132	104.5	52.50	37,708	103.3	51.91	424	1.2	0.59
	外来		84,238	345.2		82,335	337.4		1,903	7.8	
	計		122,370	449.7		120,043	440.7		2,327	9.0	
新居浜	入院	313	59,871	164.0	52.41	61,487	168.5	53.82	△ 1,616	△ 4.5	△ 1.41
	外来		122,829	503.4		125,252	513.3		△ 2,423	△ 9.9	
	計		182,700	667.4		186,739	681.8		△ 4,039	△ 14.4	
合計	入院	1,659	384,302	1,052.8	63.46	392,937	1,076.6	64.89	△ 8,635	△ 23.8	△ 1.43
	外来		745,980	3,057.2		758,413	3,108.2		△ 12,433	△ 51.0	
	計		1,130,282	4,110.0		1,151,350	4,184.8		△ 21,068	△ 74.8	

イ 施設及び医療機器の整備状況

(7) 施設の整備状況

適切な施設機能を維持し患者及び職員の環境改善を図るため、中央病院においては非常用発電機更新工事及び管理棟整流器更新工事、南宇和病院においては中央監視装置更新工事を実施した。

(イ) 医療機器の整備状況

医療水準の高度化並びに診療及び診療支援業務の合理化・効率化を図るため、今治病院及び新居浜病院のマンモグラフィをはじめとして、中央病院の3D内視鏡下手術システム、南宇和病院の電子内視鏡など総額5億788万円で119点の機器を整備している。

(2) 経営状況

経営状況（消費税等を含まない額）は、医業収益に医業外収益を加えた総収益が44,820,617,068円、医業費用に医業外費用を加えた総費用が45,453,863,697円で、差引き633,246,629円の純損失を生じており、総収支比率（総収益÷総費用×100%）は98.61%となっている。

前年度（456,481,490円の純利益）と比較すると、純利益は1,089,728,119円（238.72%）減少し、総収支比率も2.41ポイント低下している。

また、累積欠損金は20,536,881,344円となっており、前年度より633,246,629円増加している。

2 予算及び決算の状況（決算報告書）

予算額に対する決算額及びその内容は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減(△)	執行率 (B)／(A)	備 考
	円	円	円	%	
病院事業収益	49,206,733,000	44,902,925,362	△ 4,303,807,638	91.25	
医業収益	42,693,051,000	38,391,725,291	△ 4,301,325,709	89.92	
医業外収益	6,511,682,000	6,511,200,071	△ 481,929	99.99	
特別利益	2,000,000	0	△ 2,000,000	0.00	

病院事業収益決算額は 44,902,925,362円で、予算額に比べて 4,303,807,638円の減収となっており、執行率は 91.25%となっている。

医業収益の主なものは入院収益 26,519,741,703円である。

支 出

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B)／(A)	備 考
	円	円	円	円	%	
病院事業費	48,688,663,000	44,684,486,127	0	4,004,176,873	91.78	
医業費用	47,664,133,000	43,813,413,963	0	3,850,719,037	91.92	
医業外費用	1,015,030,000	871,072,164	0	143,957,836	85.82	
特別損失	8,000,000	0	0	8,000,000	0.00	
予備費	1,500,000	0	0	1,500,000	0.00	

病院事業費決算額は 44,684,486,127円で、4,004,176,873円の不用額を生じており、執行率は 91.78%となっている。

医業費用の主なものは、給与費 22,573,347,396円、材料費 10,454,311,363円である。

医業費用の不用額の主なものは、給与費、材料費である。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減 (△)	執行率 (B) / (A)	備 考
	円	円	円	%	
資 本 的 収 入	5,694,377,000	5,509,976,280	△ 184,400,720	96.76	
企 業 債	1,125,100,000	972,800,000	△ 152,300,000	86.46	
国 庫 補 助 金	1,000	0	△ 1,000	0.00	
他 会 計 か ら の 借 入 金	3,000,000,000	3,000,000,000	0	100.00	
他 会 計 か ら の 負 担 金	1,569,276,000	1,524,023,000	△ 45,253,000	97.12	
雑 入	0	13,153,280	13,153,280	—	

資本的収入決算額は 5,509,976,280円で、予算額に比べて 184,400,720円の減収となっており、執行率は 96.76%となっている。

支 出

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B) / (A)	備 考
	円	円	円	円	%	
資 本 的 支 出	7,722,369,000	7,431,433,129	44,280,000	246,655,871	96.23	
病 院 設 備 費	2,127,502,000	1,836,566,272	44,280,000	246,655,728	86.33	
企 業 債 償 還 金	2,372,867,000	2,372,866,857	0	143	100.00	
他 会 計 か ら の 借 入 金 償 還 金	3,222,000,000	3,222,000,000	0	0	100.00	

資本的支出決算額は 7,431,433,129円で、44,280,000円の翌年度繰越額、246,655,871円の不用額を生じており、執行率は 96.23%となっている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額は損益勘定留保資金で補てんしている。

3 経営成績（損益計算書）

当年度の経営成績は別表1のとおりで、その内容は次のとおりである。

当年度純損失は 633,246,629円となっており、前年度に比べて 1,089,728,119円（238.72%）増加している。

(1) 医業損失

医業収益 38,327,303,255円に対し、医業費用は 43,288,565,187円で、差引き 4,961,261,932円の医業損失を生じており、前年度に比べて 1,019,290,517円（25.86%）増加している。

医業収益は、前年度に比べて 149,527,978円（0.39%）減少している。これは主として外来収益が増加した一方で、入院収益が減少したことによるものである。

医業費用は、前年度に比べて 869,762,539円（2.05%）増加している。これは経費が減少した一方で、主として給与費及び減価償却費が増加したことによるものである。

(2) 経常損失

医業損失に医業外収益 6,493,313,813円を加え、医業外費用 2,165,298,510円を差し引いた経常損失は 633,246,629円となっており、前年度に比べて 1,089,728,119円（238.72%）増加している。

医業外収益は、前年度に比べて 41,032,070円（0.63%）減少している。これは一般会計からの負担金が増加した一方で、主としてその他医業外収益及び長期前受金戻入が減少したことによるものである。

医業外費用は、前年度に比べて 29,405,532円（1.38%）増加している。これは主として支払利息が減少した一方で、雑損失及び非課税売上分消費税が増加したことによるものである。

(3) 当年度純損失

経常損失の 633,246,629円が当年度純損失となっており、前年度に比べて 1,089,728,119円（238.72%）増加している。

なお、病院別損益の状況は別表3のとおりである。

4 剰余金の状況

当年度における剰余金の増減については、次のとおりである。

(1) 資本剰余金

当年度末残高は 319,646,586円 で、前年度末残高と同額である。残高の内容は受贈財産評価額である。

(2) 未処理欠損金

前年度繰越欠損金 19,903,634,715円 から、当年度純損失 633,246,629円 を加えた当年度末の未処理欠損金残高は 20,536,881,344円 となっている。

5 財政状態（貸借対照表）

当年度末における財政状態は別表2のとおりで、その内容は次のとおりである。

資産は 51,073,890,864円 となっており、前年度に比べて 762,216,863円 (1.47%) 減少している。

負債は 64,243,081,244円、資本は △13,169,190,380円 となっており、前年度に比べて負債は 128,970,234円 (0.20%) 減少し、資本は 633,246,629円 (5.05%) 減少している。

(1) 資 産

ア 固定資産は 40,808,269,730円 で、資産合計に対する構成比率は 79.90% となっており、前年度に比べて 1,078,140,229円 (2.57%) 減少している。これは主としてリース資産が増加した一方で、主として病院設備が減少したことによるものである。

イ 流動資産は 10,265,621,134円 で、資産合計に対する構成比率は 20.10% となっており、前年度に比べて 315,923,366円 (3.18%) 増加している。これは主として未収金が減少した一方で、主として現金預金が増加したことによるものである。

なお、未収金 7,566,326,042円 のうち医業未収金は 7,345,469,296円 で、その内容は、保険者負担分 6,786,834,673円、個人負担分 558,634,623円 となっており、個人負担分のうち過年度未収金は 361,109,225円 となっている。

(2) 負 債

ア 固定負債は 47,691,628,979円 で、負債資本合計に対する構成比率は 93.38% となっており、前年度に比べて 923,238,372円 (1.90%) 減少している。これは、主としてリース債務が増加した一方で、建設改良費等の財源に充てるための企業債が減少したことによるものである。

イ 流動負債は 9,611,626,712円で、負債資本合計に対する構成比率は 18.82%となっており、前年度に比べて 1,185,992,271円 (14.08%) 増加している。これは、主として建設改良費等の財源に充てるための企業債が減少した一方で、未払金、リース債務が増加したことによるものである。

ウ 繰延収益は 6,939,825,553円で、負債資本合計に対する構成比率は 13.59%となっており、前年度に比べて 391,724,133円 (5.34%) 減少している。

(3) 資 本

ア 資本金は 7,048,044,378円で、負債資本合計に対する構成比率は 13.80%となっており、前年度と同額である。

イ 剰余金の内訳は、資本剰余金 319,646,586円、欠損金 △20,536,881,344円となっている。

6 キャッシュ・フロー（キャッシュ・フロー計算書）

当年度におけるキャッシュ・フローは別表4のとおりで、その内容は次のとおりである。

業務活動によるキャッシュ・フローは 2,081,575,652円、投資活動によるキャッシュ・フローは 779,650,740円、財務活動によるキャッシュ・フローは △ 2,283,796,885円となっている。資金期末残高は 2,651,439,325円となっており、前年度に比べて 577,429,507円 (27.84%) 増加している。